

平成二十六年十月編入学 大学院人文科学府博士後期課程第1期入学試験問題
(日本語)

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えよ。

著作権保護のため、ウェブ公開版では問題文を削除した。
(本文は縦書き、40字×57行)

(正高信男『0歳児がことばを獲得するとき』による)

問一 二重傍線部ア、オの漢字を平仮名に直せ。(15点)

問二 空欄①、③にあてはまることばを、それぞれ次から選べ。(15点)

ア しかも イ もし ウ 一方 エ たとえば オ 必ずしも

問三 波線部 a 「いきおい」、b 「あたかも」を用いて、それぞれ短文を作成せよ。

(7点×2＝14点)

問四 傍線部 A 「赤ちゃんの行動範囲は急速に拡大を見せるようになる」とあるが、具体的にどのような行動として示されるのか、本文中から抜き出して答えよ。(9点)

問五 空欄Bにもっともよくあてはまる文を、次から選べ。(7点)

- ア もちろん、その通りであるといえよう
- イ しかし、赤ちゃんの個性によってそれは異なるのではないか
- ウ でも、赤ちゃんは本当は何をわかっているのだろうか
- エ ここで、お母さんが本当に伝えたいことは一体何だろうか

問六 傍線部C「そう」が指す内容について説明せよ。(9点)

問七 空欄Dにあてはまることばを、次から選べ。(6点)

- ア 右上がり直線型
- イ V字型
- ウ 逆V字型
- エ 右下がり直線型

問八 傍線部Eのように筆者が述べるのはなぜか、説明せよ。(10点)

問九 本文中で示される母語話者による言語獲得と、外国人による言語習得の違いはどこにあると思うか。自身の体験をふまえながら、できるだけ詳しく述べよ。(15点)